

令和7年度第2回宇都宮市民大学運営協議会会議録

- 1 開催日時 令和7年7月28日(月) 午前10時から
- 2 開催場所 人材かがやきセンター研修室(中央生涯学習センター5階)
- 3 出席委員
丸山 純一 会長 野中 正知 副会長 齋藤 明彦 委員 坪山 恵子 委員
荒井 隆 委員 大谷 佳久 委員 片桐 幸枝 委員
(以上7名)
- 4 欠席委員
赤羽 幸雄 委員 薄羽 正明 委員 目加田 友子 委員
(以上3名)
- 5 出席職員
生涯学習課長 塚田 真仁
生涯学習課長補佐 横山 靖夫
家庭教育・地域人材グループ係長 加藤 裕史
家庭教育・地域人材グループ総括 吉田 泰弘
家庭教育・地域人材グループ主任主事 吉澤 直輝
家庭教育・地域人材グループ主任主事 菊池 美咲
家庭教育・地域人材グループ主事 釜井 羽依
家庭教育・地域人材グループ主事 金田 陽南子
生涯学習課会計年度任用職員 塚田 哲夫
生涯学習課会計年度任用職員 松永 佳寿子
生涯学習課会計年度任用職員 藤田 莉帆
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴者の数 0人
- 8 付議事項
 - (1) 報告事項
 - ・ 報告第1号 令和7年度宇都宮市民大学前期専門講座の実施状況について
 - ・ 報告第2号 令和7年度宇都宮市民大学後期専門講座の実施予定について
 - (2) 協議事項
 - ・ 協議第1号 令和7年度宇都宮市民大学公開講座の実施について
 - ・ 協議第2号 令和8年度宇都宮市民大学の実施方針(案)について
 - (3) その他

(閉会 午前11時00分)

(1) 報告事項

丸山会長	定員が90名と増えたが、その中でも満足度が高かった。座学だけではなく、館外学習やワークショップなど、講座の実施方法にもバリエーションが出てきたと感じる。現代社会コースは毎回人数が少ないが活発に行われていたような印象を受ける。
野中委員	参加者が増えると満足度が下がる傾向があるが、下がっていないことから、事務局をはじめ講師陣の取組の成果であると思う。総合文化センターもコロナ明けからだんだん入場券が売れるようになってきた。前期講座が後期講座に向けたステップアップになればいいと思う。
坪山委員	前期講座で講師を務めた。実際に参加した人が積極的に参加してくれて有意義な時間になった。実践的にやるが多かったが、受講者の学ぶ姿勢が素晴らしかった。市民の皆様が市民大学を有意義に使ってくれていることが分かった。実践的なことを取り入れながら今後もやっていくといいのかなと思った。
丸山会長	大学連携の講座は毎回テーマが違うので出席率が下がる印象があるが、今回は出席率が高かった。その要因が分かれば教えてほしい。
坪山委員	すべての分野がバラバラになっているのではなく、3つの分野がまとまっていてつながりがあったからだと考える。
荒井委員	前期講座で宇都宮大学が講師を担当した講座(逃げ地図)について、修了率は高いが、募集定員に対しての応募者数が低い。事務局でそちらの要因分析などをしていれば教えてほしい。
事務局	タイトルの部分でどんな講座か分かりにくかったことや内容の紹介の方法、こちらの周知の方法など、様々な要因で受講者が増えなかったと推察する。
荒井委員	周知の方法など、今後も色々工夫していけば受講者や修了者数も増えると思う。今後も工夫していってほしい。
丸山会長	防災に関しては、市民の関心が高まっている分野だと思う。私が住んでいる姿川地区でも、ハザードマップなどで勉強会なども実施しているとのこと。他のところは把握できていないが、生涯学習センターなどでそういった事例が積み重なっていけば、より専門的な立場から市民大学として取り上げた際にも、応募が増えていく可能性はあると思う。その辺りについても、こちらにヒントなど貰えればと思う。

(2) 協議事項

丸山会長	例年公開講座の講師を事務局の方で選出しており、毎回幅広い分野の方で感心している。講師選定の視点やこの人がいいのではないかな等、委員の皆様にご意見を貰いたい。
大谷委員	会場がライトキューブ中ホールとなっているが何人くらいの来場者数を想定しているのか。
事務局	500~600名程度で想定している。今後講師と相談しながら決めていきたい。
大谷委員	いま資料に上がっている人の中から選定するというのか。

事務局 大谷委員	事務局としてはそうしたい。 田臥さんと渡辺さんだったら、渡辺さんはたくさんメディアに出ているので渡辺さんの話はいつでも聞ける。よくメディアに出ている芸能人よりは、なかなかメディアに出ていないスポーツ選手などを呼ぶ方が集客が見込めるように感じる。よくメディアに出ているかどうかという視点は重要なことのひとつかと思う。
丸山会長 事務局 丸山会長	昨年度の榎本選手のときは何名くらいの参加だったのか。 119名だった。 前回高校生以下無料としていたが、今回も若い世代を無料にすることは検討するのか。
事務局 片桐委員	今回もそのようなやり方で実施したいと考えている。 前回の文化会館は会場が段になっていて見やすかったが、ライトキューブはフラットなので見にくいように思う。会場の状況によっては見やすさを検討した方がいいと思う。講師候補についてはどなたも魅力的だが、ターゲットをどの辺の世代にするかを考えると講師を絞りやすくなると思う。
丸山会長 片桐委員	片桐委員はどのような世代を対象をすると良いと考えているのか。 講座では60代や70代の方が多く、なかなか若い方が来られないが、公開講座では若い方にも興味を持っていただきたいと思う。 ワークショップの内容がもう少し分かりやすくなると参加率が上がりそうである。講座内容に対して不安があると参加を渋る人が多くなる。広報紙の記事内容などももう少し具体的にするなど、分かりやすさを意識すると良いと思う。
荒井委員	井上さんは市民ランナーで活躍されている。市民ランナーは年齢層が幅広いので受講者を取り込みやすそうである。より市民に寄り添った視点で、スポーツ選手とは違ったお話が聞けそうだと思う。
野中委員 事務局 野中委員 事務局	受講料1000円ということだが、どのようにチケットを販売しているのか。 受講決定者に振込票を送付し、各個人に振り込んでもらっている。 申込の段階で宇都宮市に住んでいるかは分かるということか。 申込の際の必要事項として、住所を記載いただいている。
丸山会長	令和8年度の市民大学実施方針（案）についてご意見・ご質問等あれば伺いたい。 （異議の声なし）
丸山会長	特にご意見ないとのことなので、案のとおりということで承認する。

(3) その他

丸山会長 事務局	事務局からその他連絡事項をお願いしたい。 第3回運営協議会の開催は例年どおり11月を予定している。詳細は別途通知する。
丸山会長	以上で終了とする。